

小松市 消防団 広報誌

KOMATSU FIRE BRIGADE MAGAZINE

KFB

vol.32

令和6年春 北陸新幹線小松駅 開業祝 JR小松駅周辺で開催 4年ぶり裸放水実施

今年は令和5年10月に導入された
35m級「新はしご車」から放水開始



◆式典 午前 9:00 見学自由

團十郎芸術劇場うらら「1階大ホール」

◆街頭行進 午前 10:00

團十郎芸術劇場うらら～JR小松駅東口

◆観閲式 午前 10:30 ◆一斉放水 午前 11:00

場所 **JR小松駅東口**



小松市消防出初式

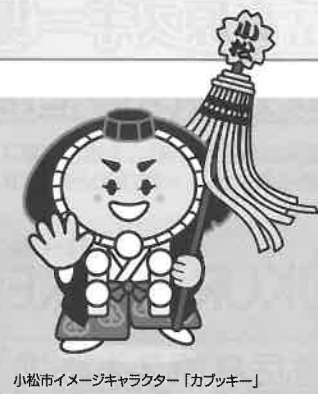
令和6年
1月6日
土

写真展作品募集

募集期間

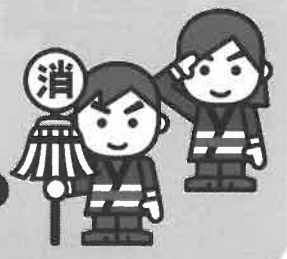
令和6年 1月9日(火)
～1月23日(火) 必着

あなたの素晴らしい消防団活動の写真! 沢山のご応募お待ちしております! 来年の12月1日号の表紙に選ばれるかもしれませんよ!
応募していただいた写真はイオンモール新小松・アルプラザ小松・JR小松駅・小松市役所・小松市消防本部で展示を予定しています。



小松市消防団のココが知りたい

Q&Aコーナー



Q1:消防団員とは?



A1:各自の仕事を持ちながら「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防活動を行う権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員です。



Q2:誰でも団員になることは出来ますか?



A2:年齢18歳以上の健康な人で、小松市に居住・勤務・通学している人なら誰でも入団できます。学生の方も団員になれます。



Q3:どのような活動があるのですか?



A3:活動例
災害対応(火災、風水害、行方不明者捜索等)
広報活動(火災予防の他、消防団を多くの市民に知ってもらう活動)
応急手当の指導※女性分団員に限る
各種訓練(消火訓練、救命講習の受講)



Q4:どのくらいの頻度で活動するのですか?



A4:年間の大きな行事
6月下旬 総合訓練
11月中旬 秋の火災防ぎょ訓練
1月上旬 消防出初式
3月下旬 春の火災防ぎょ訓練
他には月に1回の車両点検や、3年に1回の救命講習、消火訓練等の研修会が開催されます。ほとんどの活動が日曜日に開催され、半日で活動が終わります。



Q5:活動に参加した場合、報酬はありますか?



A5:小松市では活動した際に下記のとおり支給額が決められています。

水火災その他の災害の防ぎょ、鎮圧、警戒等の職務に従事した場合
4時間以上 1回 8,000円
4時間以内 1回 4,000円



訓練、広報等に従事した場合
1回 2,000円

その他、年額報酬が下記のとおり支給されます。

団 長	106,000円
副 団 長	81,000円
分 団 長	66,000円
副分団長	59,000円
部 長	57,000円
班 長	56,000円
団 員	54,000円

また、2年以上勤務して退団した際には、退職報酬金が支給されます。



Q6:報酬の他に、団員となった際に良いことはないの?



A6:令和4年度では公共施設等の利用券を配布できました。一定の資格取得の助成も行っています。また、その他に以下のサービスや制度が整備されています。詳しくはQRコードからご覧ください。

「全国消防団応援の店」
消防団員とその家族が全国の加盟店で割引などのサービスを受けられます。



「消防団協力事業所表示制度」
事業所の社会貢献度が広く認められ、地域防災体制が充実されることを目的としています。



「学生消防活動認定制度」
就職活動や自己PRなどで活用できます。また本制度は、大学や経済団体へ周知されています。



Q7:消防団について、もう少し聞いてみたいのですが、どこに問い合わせれば良いですか?



A7:小松市消防本部の消防総務課が事務局となっています。
TEL0761-20-2705までお問い合わせください。

新入団員



第1稚松分団 団員 濱口 淳也



第3安宅分団 団員 中村 貴嗣



第14国府分団 団員 北山 雅揮



第9栗津分団 団員 興 悠佑



第8御幸分団 団員 田上 瑞樹



第8御幸分団 団員 中谷慎太郎



第4牧分団 団員 石井 朝

この度、八月二十日より第一稚松分団長を拝命致しました。藤井歳正と申します。地域の皆様には日頃より私共消防団の活動にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。いつ起こるか分からない火災や自然災害、行方不明者捜索を行う上で、団員達本人やその家族が、「消防団に入っていて良かった。」と、思ってもらえるような活動が出来るよう、心がけたいと思っています。

ご家族の皆様、地域の皆様にはご無理やご負担を掛ける場面があるかも知れませんが、地域の役に立つよう全力で取り組みたいと思いますので、今後ともご支援ご理解ご協力を頂きますようお願い致します。



第1稚松分団 新分団長 藤井 歳正

新分団長

新分団長・新入団員の紹介

小松市消防団員数の状況

	定数	実員
団 本 部	6	6
女 性 分 団	18	14
第 1 稚 松 分 団	23	15
第 2 芦 城 分 団	23	19
第 3 安 宅 分 団	19	17
第 4 牧 分 団	19	16
第 5 板 津 分 団	25	20
第 6 白 江 分 団	24	20
第 7 苗 代 分 団	30	29
第 8 御 幸 分 団	28	28
第 9 栗 津 分 団	26	23
第10月 津 分 団	21	23
第11矢 田 野 分 団	23	23
第12那 谷 分 団	18	17
第13中 海 分 団	25	23
第14国 府 分 団	23	23
第15金 野 分 団	19	17
第16大 杉 谷 分 団	20	20
第17西 尾 分 団	20	20
合 計	410	373

令和5年11月1日現在

消防団管轄図



写真展作品募集!!

募集期間 令和6年1月9日(火)
～1月23日(火) 必着

あなたの素晴らしい消防団活動の写真!
沢山のご応募お待ちしております!



【作品テーマ】

令和6年1月6日(土)に開催される小松市消防出初式をはじめ令和5年度中の消防団活動の風景の写真を応募下さい。

【応募規定・内容】

サイズ

カラープリント2L(127mm×178mm)から4切(254mm×305mm)

及びワイド4切(254mm×365mm)までといたします。

(デジタル作品也可)

応募点数は展示スペースの関係上、お一人様5点までとさせていただきます。なお応募総数が多数の場合、一部の作品を展示できない場合があることをご了承ください。

写真裏面に必要事項(住所・氏名・連絡先・写真テーマ等)を記載の上、郵送または募集先まで持参ください。作品の展示にあたり、氏名と写真テーマを公開させていただきます。万一、応募作品に関して第三者とのトラブル等が発生した場合、主催者は一切の責任を負えません。

【作品の展示】

小松市役所、小松市消防本部ほか、市内大型店舗等に展示予定です。詳しくは小松市消防本部ホームページをご覧ください。



約一週間周期で各展示場を移動いたしますが、事情により展示場所に変更がある可能性があります。

【注意事項】

応募作品に記載された個人情報につきましては、第三者に譲渡・掲示はいたしません。応募作品は返却いたしません。

応募作品の著作権・版権などの権利は、小松市消防本部に帰属します。

【応募先・問い合わせ先】

〒923-0801 小松市園町木110番地1
小松市消防本部 消防総務課

TEL 0761-20-2705

ホームページ <http://www.komatsu-fire.com/>

大倉岳高原スキー場 回数券を団員に配布

今年度、消防団員の希望者に対し、大倉岳高原スキー場の回数券が配布されます。※数に限りがあります。



石川県消防操法大会

◆日時：7月29日(土) ◆場所：石川県消防学校



令和5年度小松市消防団総合訓練大会におきまして、ポンプ車操法の部で優勝し、第69回石川県消防操法大会に出場しました。第七苗代分団として、5年ぶり10回目の大会出場となりました。これも長年、諸先輩方より受け継いだ経験と団員の熱意はもとより、地域の皆様や団員家族のご支援の賜物と団員一同、心より感謝いたしております。

ポンプ車操法とは、火災発生時における消火活動を迅速かつ的確に行い、さらに安全性を確保するため、消防ポンプ車の取り扱い及び操作方法を示すものであり、この技術習得は消火技術の向上と士気を高めると共に、地域住民の生命・財産を守る防火意識の高揚にも繋げる訓練であると確信を致しています。

私たちはポンプ車操法のおかげで団員に怪我無く消火活動を安全に行うことが出来るようになりました。住民の方々が私たちの活動を見て少しでも安心できるように、今後も更に地域の皆様方の負託に答えるべく消防活動に邁進していく所存であります。

出場分団：第七苗代分団

【出場隊員】

隊長 分団長 山岸 稔
旗手 部長 木下 達信
指揮者 班長 竹崎 誠市
1番員 団員 樹本清太郎
2番員 団員 山口 矩広
3番員 団員 南 佳祐
4番員 団員 上田 健司
補助員 団員 辻 徳和
補助員 団員 吉柴 文悟



新型ポンプ車入魂式

第十七西尾分団



第十七西尾分団 分団長 亀丸 善弘

令和5年10月29日(日)、ご多忙のなか、宮橋市長、小林消防団長をはじめとする多数のご来賓の方々に、第17西尾分団の新消防ポンプ自動車入魂式へご臨席賜り、心から感謝申し上げます。また24年ぶりの更新にいたる今日まで、ご尽力いただいた消防本部および関係者各位にも重ねてお礼申し上げます。

我々、第17西尾分団一同は、これからも引き続き地域の安全・安心を心から願い、日々精進を重ね地域の防災力向上に努めてまいります。

宝くじコミュニティ事業を活用して 移動用放送設備を整備しました。

小松市消防団が令和5年度宝くじの助成金で移動用放送設備を整備しました。整備した資機材で、消防団活動をより一層広報してまいります。

